

News Letter from the Kobe Branch

JAUW 神戸支部 第74回 総会のご案内

日時：令和 4年 4月 9日 (土)

場所：リード芦屋C室

TEL 0797 - 26 - 6452

定時総会：午後 1:30～ 2:30

II部 懇親会 ～3:00

今回総会では、支部活動をより活性化するため「神戸支部規約」と「神戸支部奨学金規定」の改訂案を動議として提出いたします。規約改訂委員会から改訂の提案理由が述べられ、会員の皆様と意見交換の後、採決いたします。

多数の皆様のご参加を宜しくお願いいたします。(支部長 平井典子)

【3月報告事項】

1) 神戸支部在籍会員報告 (会員委員長・宇野)

① 3月10日現在 正会員数 47名 支部会員数 5名

② 入会希望 の小林 美佐子様(兵庫教育大学大学院卒)へ入会申込書を送付済み

2) 2021年度神戸支部奨学生選考結果報告 合計 22万円 (奨学委員長・唐島)

- | | |
|-----------|---|
| 1位 (10万円) | 東 里沙(26) 神戸薬科大学大学院 薬学研究科薬学専攻 博士課程2年
「活性酸素種の生体内挙動を追跡する新規核医学イメージング手法の開発」 |
| 2位 (5万円) | 豊田優佳里(25) 神戸大学大学院 理学研究科惑星学専攻 博士後期課程2年
「多孔質氷球の超低速度衝突実験：土星リング粒子及び氷微惑星形成への応用」 |
| 3位 (3万円) | 柏本たまき(29) 兵庫教育大学大学院学校教育研究科人間発達教育専攻修士課程2年
「ミュージッキングの知見を取り入れた音楽学習の研究—中学生におけるICTを活用した系統学習と共同学習の連携—」 |
| 3位 (3万円) | 佐々木恭子(46) 神戸大学大学院国際文化学研究科グローバル文化専攻博士前期課程2年
「英語における理由表現の諸相—母語話者コーパス及び学習者コーパスの分析に基づく日本人高校生への理由表現指導の在り方— (*コーパス：言語資料)」 |
| 奨励賞 (1万円) | 江川 可純 兵庫医科大学大学院 医学研究科医科学専攻 博士課程2年
「レスベラトロールによる血小板機能抑制メカニズムの解明」 |

12月18日開催の神戸支部奨学金選考会は、コロナ禍により対面選考が難しいため、ビデオレターによるレジュメ報告のプレゼンテーションで選考を行った。



《女性の活動支援をめぐって～他団体に学ぶ》

「International Women's Day with men 国際女性デーを男性と共に」

1975年国連は3月8日を「国際女性デー」に制定しました。男性と女性が競争するのではなく協力しあい、協働することで持続可能な社会を作りたいことを願って、イタリアやフランスではこの日を「ミモザの日」と呼び、女性にミモザの花を送ります。関西の国際コミュニティがこの伝統をシェアし、SDG-s No5「ジェンダー平等を実現しよう」の促進を願い、2022年3月5日（土）16:00から神戸メリケンパークオリエンタルホテルで「国際女性デーを男性と共に」の会合を開催しました。

神戸支部入会の Kei Foran さんのお誘いを受けて、JAUW 神戸支部から9名が女性の活動支援団体として「ミモザの会」へ表敬訪問をいたしました。神戸支部会員の伊藤舞・芦屋市長とアメリカ総領事の特別基調講演の後“Gender Equality”についてディスカッションが行われ、松村さんが報告しました。英語の飛び交う中で緊張しながら格調高い女性支援活動を学んでまいりました。



(伊藤舞芦屋市長特別基調講演)



(アメリカ総領事特別基調講演)



(松村会員のテーブル報告)



(foran さんと)



(神戸支部参加者)



(外国からのゲストと foran さん、神戸支部会員)

「国際女性デーを男性と共に参加して」(調査研究委員長・池田説子)

すっかり美しくなったメリケンパークを歩き、オリエンタルホテル大ホールのパーティの雰囲気気分も高揚しました。

先ず JAUW の葉を持って隣のテーブルの比較的若い方に声をおかけしました。どうやらキャリアウーマンらしく、私たちの活動に興味が無さそうでした。次に年配と思える方々のいるテーブルでの会話では「私は高齢よ」と相手の方、「私もかなり」と私。「貴女より10歳は上よ」と絶対そうには見えない方が実際は94歳で、ヨーロッパで有名な和服生地ドレスのデザイナーでした。

シンポジウムが始まり伊藤舞市長が登壇、議会で市長への応援が無い、クォーター制は賛成、女性の立候補を望むなど、話しぶり、内容ともに率直で立派でした。

並みいる聴衆の内半分は男性で外国の方も多かった。日本の女性デーでは、こんな風景は見たことが無いと思いました。



【奨学生からのお便り】

「2020年度本部一般奨学金」は、神戸支部選出の山下真依さん（兵庫県立大学院物質理学研究科）の「高分散分光観測による前主系列星の磁場強度の調査」が授与されましたが、その後、体調を壊されメールでお尋ねしておりましたが、今年の3月3日に返信のお便りが届きました。

「兵庫県立大学の山下です。昨年度は本当にお世話になりました。お元気ですか。しばらく神経痛が続いたのですが、おかげさまで今は元気に研究活動を続けております。今年度は学会や研究会で数回発表ができました。今日は日本天文学会の年会にてポスター発表を行っております。他はハワイのすばる望遠鏡への観測提案を採択していただきました。病気になった当時は不安だったにも関わらず、飛躍の年になったのではないかと感じております。

また先日は自身の論文が受理されました。出版はまだ先の予定です。

内容はHPよりご覧になられます。

<https://arxiv.org/abs/2202.02065>

<https://arxiv.org/pdf/2202.02065.pdf>



研究を続けたいというモチベーションは今も健在です。

来年度からはいよいよ博士後期課程の2年生になるということで、将来への不安も少々増してきましたが、

「研究を続けながら家庭と両立できるのかな？でもやり遂げたい」と感じています。研究が楽しいという気持ちを大切に励んでいきたいと思えます。」

夜空の星を見上げて山下さんの難しい星の論文を思い出しています。

神戸支部にご縁のある女性研究者たちにエールを送りましょう、エイ エイ オー ♡♡